

令和 4年度予算見積調書(9月補正予算)

課室名: 畜産安全課
 担当名: 畜産振興担当
 内線: 4191

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B2	粗飼料高騰緊急対策事業		一般会計	農林水産業費	畜産業費	畜産振興費	畜産物需給対策費	
事業期間	令和 4年度	根拠法令	酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律第2条の3、養豚農業振興法第4条、養鶏振興法第19条		針路分野施策	12 1202	儲かる農林業の推進 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsゴール 2 SDGsターゲット 2-4
1 事業概要			5 事業説明					
<p>本県の粗飼料自給率は15.4%で、輸入粗飼料への依存度が高い。現在、輸入粗飼料価格が高騰しており、セーフティネット制度がないため、価格高騰が県内の酪農経営に影響を与えている。</p> <p>そこで、中長期的に飼料を安定的に確保するため、自給飼料の生産性向上に向けた飼料用機械の導入や飼料作物優良品種の導入への補助を行うとともに、現在の輸入粗飼料の高騰に直面している酪農家の負担軽減を図ることにより、県内の酪農経営の安定を図る。</p> <p>ア 自給飼料利用拡大対策事業 15,000千円</p> <p>イ 粗飼料高騰緊急支援事業 76,464千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 自給飼料利用拡大対策事業 15,000千円</p> <p>(ア) 飼料用機械の導入補助 自給飼料の生産性向上に必要な飼料用機械の導入費の一部を補助する。</p> <p>(イ) 飼料作物優良品種の導入補助 飼料作物の優良品種の種子購入費の一部を補助する。</p> <p>イ 粗飼料高騰緊急支援事業 76,464千円 輸入粗飼料の高騰で影響を受ける酪農家を支援する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 自給飼料利用拡大対策事業</p> <p>(ア) 飼料用機械の導入補助 飼料用機械導入見込台数 4台 補助金10,000千円以内</p> <p>(イ) 飼料作物優良品種の導入補助 飼料作物優良品種導入面積見込 250ha 補助金5,000千円以内</p> <p>イ 粗飼料高騰緊急支援事業</p> <p>助成額 成牛 1頭あたり14,500円以内 育成牛 成牛1/3頭分として換算 (農家毎の輸入粗飼料の使用割合を乗じて算定)</p> <p>交付見込頭数 成牛5,600頭、育成牛1,900頭</p> <p>(3) 事業効果 自給飼料の利用拡大 輸入粗飼料高騰を受け経営が悪化した酪農家の経営維持</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 酪農関係団体と連携して事業実施</p>					
2 事業主体及び負担区分			新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(原油価格・物価高騰対応分) (国10/10・県0)					
3 地方財政措置の状況			なし					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員			9,500千円×1.0人=9,500千円					
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の予算額
決定額	91,464	国庫支出金	91,464				0	91,464
現計額	0						0	

事業内訳書

事業名	粗飼料高騰緊急対策事業		
単位事業名	自給飼料利用拡大対策事業	予算額	15,000千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	15,000	—	飼料用機械導入補助 4台分 飼料作物優良品種導入補助 250ha分
合計	15,000	—	

単位事業名	粗飼料高騰緊急支援事業	予算額	76,464千円
-------	-------------	-----	----------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	76,464	—	成牛 5,600頭分 育成牛 1,900頭分
合計	76,464	—	